

2020年3月期 決算説明資料

みんなの夢の企業グループ



2020年5月

株式会社NEW ART HOLDINGS



証券コード:7638

1. 2020年3月期 決算概要

2. 2020年3月期 取組内容および 2021年3月期 取組課題

3. 海外事業展開

4. 株主還元

(1)決算ハイライト

1

2020年3月期 連結業績

売上高 18,620百万円 営業利益 3,331百万円

⇒増収増益で売上、営業利益とも過去最高を更新

2

主力のブライダルジュエリー事業が好調持続

⇒売上、セグメント利益(営業利益)とも過去最高を更新

ヘルス&ビューティー事業も増収増益

3

配当は1株あたり30円(前期比+10円※)

※20株⇒1株の併合実施後ベースで比較

財務ストック面も、健全性を維持

(2)2020年3月期 決算概要(連結・PL)

〔金額単位:百万円〕

	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率
売上高	17,585	18,620	1,035	5.9%
売上原価	6,875	6,171	▲703	▲10.2%
売上総利益	10,710	12,448	1,738	16.2%
販売管理費	8,183	9,117	933	11.4%
広告宣伝費	2,207	2,564	357	16.2%
給与手当	1,734	1,816	82	4.7%
営業利益	2,526	3,331	804	31.8%
経常利益	2,388	3,272	884	37.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	916	1,529	612	66.9%
同上 売上比	5.2%	8.2%	3.0pt	—

売上高…ジュエリー事業の伸び率21.2% 売上全体に占める割合は81.6%(+10.3pt)

売上原価…フィンテック関連で▲1,429 ジュエリーの原価率は27.3%で不変。

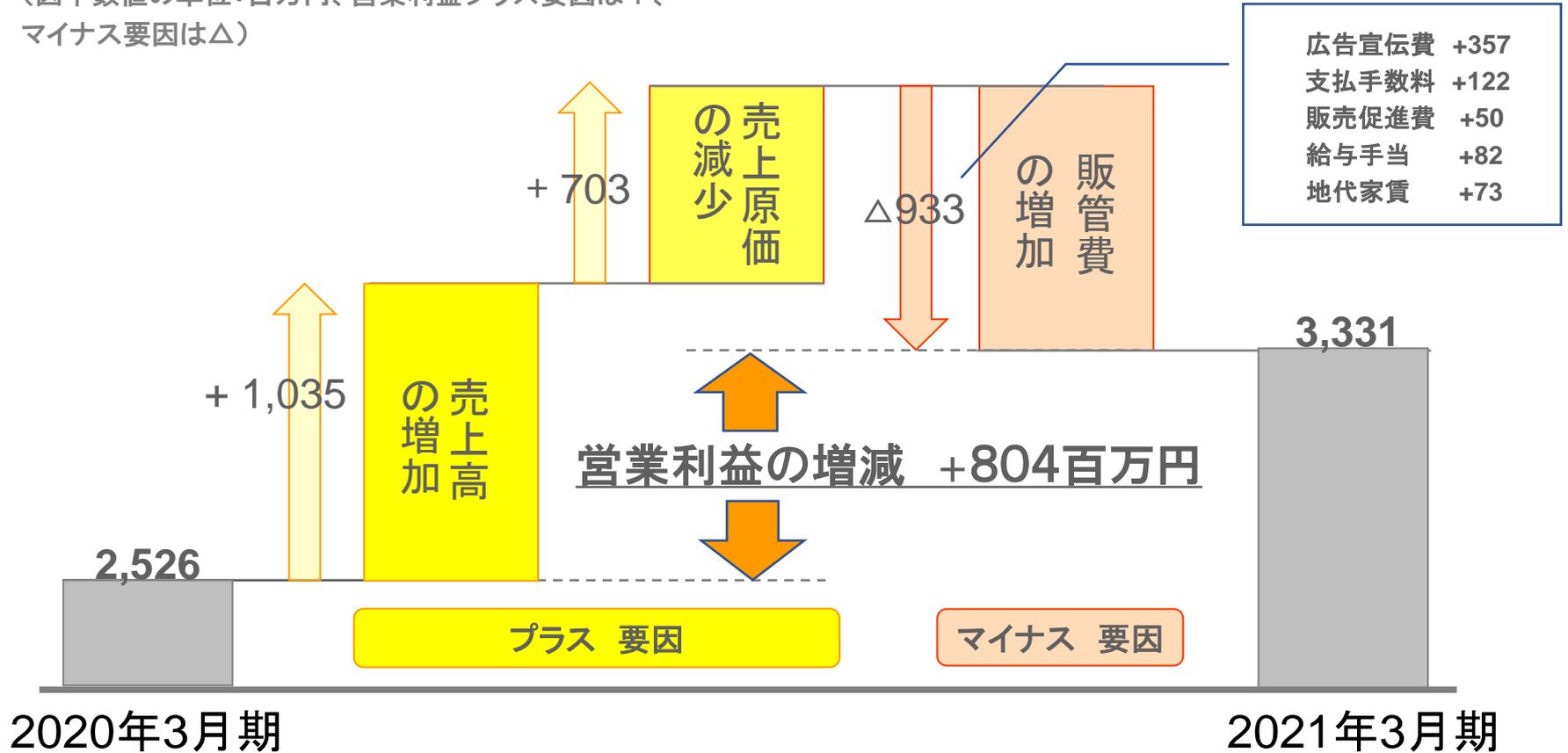
販売管理費…広告宣伝費はジュエリーTV CM等で増加。給与手当の増加幅は相対的に低く、人材活用が効率化。

特別損失計上…「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失407百万円を計上。

(3) 営業利益(連結)の増減分析

営業利益 3,331 百万円(前期比+804百万円)
 営業利益率 17.9% (前期比+3.5pt)

(図中数値の単位:百万円、営業利益プラス要因は+、
 マイナス要因は△)



(4)2020年3月期 主な財務指標

売上高 **18,620**百万円 (前年同期比 +1,035百万円 + 5.9%)
営業利益 **3,331**百万円 (前年同期比 +804百万円 +31.8%)

◎売上総利益(粗利)率 **60.9% ⇒ 66.9%**

売上原価▲703 (うちフィンテック関連 ▲1,429百万円)

ジュエリーの粗利率は **72.7%** で不変。

◎売上販管費率 **46.5% ⇒ 49.0%**

広告宣伝費 +357百万円

(うちジュエリー +413百万円、ヘルス&ビューティー ▲82百万円)

◎売上高営業利益率 **14.4% ⇒ 17.9%**

◎売上高経常利益率 **13.6% ⇒ 17.6%**

◎総資産回転率(売上高/総資産) **1.15回⇒ 1.07回**

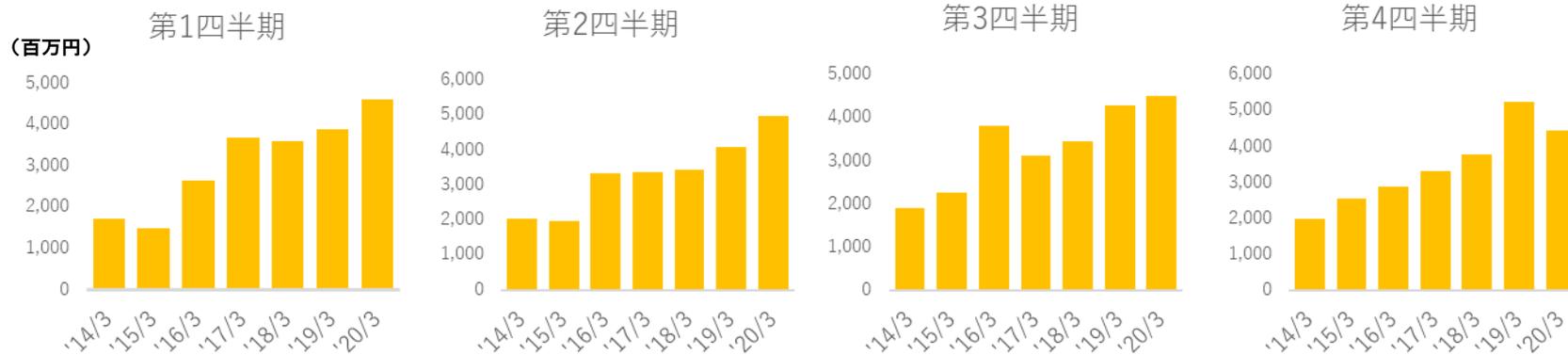
(5)業績推移(連結)

売上高／営業利益(連結)の長期トレンド

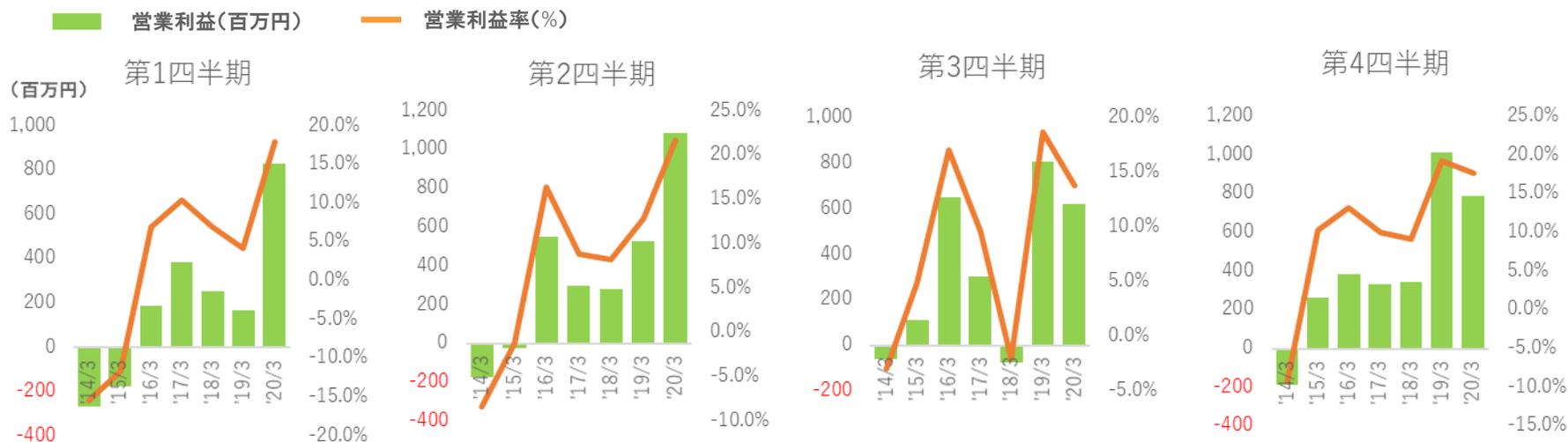


(6) 四半期業績(連結)の推移

売上高



営業利益



(7)セグメント別業績

[単位:百万円]

		2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率
ブライダル ジュエリー 事業	売上高	12,538	15,202	2,663	21.2%
	セグメント利益	2,900	4,032	1,131	39.0%
ヘルス& ビューティー 事業※4	売上高	2,773	2,905	131	4.7%
	セグメント利益	74	134	60	80.6%
フィンテック 事業※5	売上高	1,875	367	△1,507	△80.4%
	セグメント利益	※6 57	△52	△110	△190.3%
その他 事業	売上高	411	176	△234	△57.1%
	セグメント利益	※6 50	△53	△103	△206.2%
調整額 ※2	売上高	△14	△31	△17	—
	セグメント利益	△556	△730	△173	—

※1 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載。※2 セグメント利益の調整額は全社費用を計上。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費。※3 セグメント損失は△で記載。※4 「全身美容事業」から名称変更。※5 「アート事業」から名称変更し、従来「その他事業」に含めていた一部の事業を区分変更して計上。(アートファンド関連) ※6 2019年3月期のセグメント利益は変更後の区分で組み替えた数値。

(8) 2020年3月期 決算概要(連結・BS)

[単位:百万円]

	2019年3月期	2020年3月期	増減	変動要因
流動資産	11,379	13,044	1,664	<ul style="list-style-type: none"> ◆流動資産 <ul style="list-style-type: none"> ・現預金 +929 ・受取手形及び売掛△1,244 ・商品及び製品 +1,708 (うち、アート分 +932) ◆固定資産 <ul style="list-style-type: none"> ・土地 +400 ・長期貸付金 +352 ・減損 △407 ◆流動負債 <ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金 +1,195 ・未払法人税等 +80 ◆固定負債 <ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金 △70 ◆純資産 <ul style="list-style-type: none"> ・当期純利益 +1,502 ・配当金支払 △325 ・自己株式 △427
固定資産	3,911	4,288	377	
資産合計	15,290	17,332	2,041	
流動負債	6,945	8,038	1,093	
固定負債	870	1,005	134	
負債合計	7,816	9,044	1,227	
純資産	7,414	8,288	814	
負債及び純資産合計	15,290	17,332	2,041	

【主要財務指標】

流動比率 162.3%、固定比率51.7%、自己資本比率 47.8%

1. 2020年3月期 決算概要

2. 2020年3月期 取組内容および 2021年3月期 取組課題

3. 海外事業展開

4. 株主還元

(1)2020年3月期 取組内容

店舗展開(国内)

新設

ブランド	店名	所在地
銀座ダイヤモンドシライシ(DS) エクセルコダイヤモンド(EX)	ららぽーと沼津店	静岡県沼津市
エクセルコダイヤモンド(EX)	富山店	富山県富山市

改装

ブランド	店名	所在地
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	仙台本店	宮城県仙台市
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	富山本店	富山県富山市



DS/EX
ららぽーと沼津店
(統合店)

DS富山本店・
EX富山店
(統合店)



(1)2020年3月期 取組内容

店舗展開(海外)

新設

ブランド	店名	所在地
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	新光三越桃園駅前店	台湾桃園市
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	香港SOGO TST店	香港油尖旺区
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	新光三越台中中港店	台湾台中市
銀座ダイヤモンドシライシ(DS)	上海久光店	中国上海市
ラ・パルレ	上海久光店	中国上海市

DS新光三越桃園駅前店



DS上海久光店



(1)2020年3月期 取組内容

トピックス

◎ブライダルジュエリー事業

- ・「受注—製造—販売」のモデル確立 ⇒ 強みの発揮
- ・ブランド価値向上 ⇒ テレビCM制作、テレビドラマ、映画等への積極的な協力、広告宣伝レベルアップ
- ・体制整備 ⇒ 接客、応対力のブラッシュアップ(人材教育)

恋愛映画の名手、行定勲監督が描くブランドムービー

何気ない日常の中で起こるふたりの輝くプロポーズ、指輪を握りしめてただひたすら彼女の元へ走る彼の強い想いを描いた前作エピソード1「彼は走っている」篇、エピソード1から過去に遡った、ある日のふたり—彼女の気持ちに気づき「本物の指輪を絶対に渡すぞ」と決意を固める彼を描いたエピソード0「紙の指輪」篇。



カット技術の頂点を極めた「EXELCO」

「アイディアル ラウンド ブリリアント カット」の発表(1919年)から100年を記念し、「エクセルコ ダイヤモンド展 よみがえりし、幻のティアラ」を、2019年7月13日(土)～8月25日(日)テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り「SUMMER STATION」内、テレビ朝日 EXシアター17F特設会場にて開催



(1)2020年3月期 取組内容

トピックス

◎ヘルス&ビューティー事業

・「利益構造改革」への取組み

会員アプリ ▶



- ・広告費の費用対効果最大化による収益性向上
- ・リアルとネットを融合したコスト削減&利益創出
- ・ブランド価値向上=エステティシヤンの育成強化
- ・国内海外への新規出店と物販事業展開

◎フィンテック(アート)事業

- ・2019年10月香港「ASIA Contemporary Art Investment Fund Limited」において第一号のアートファンドを組成

◎その他(スポーツ)事業

- ・新ブランド「Lindy」を2019年12月にリリース



(2)2021年3月期 取組課題

【基本方針】

成長戦略に基づく更なる事業拡大による企業価値の最大化

各事業における
ブランド力の向上

海外(アジア)への
積極的な事業展開

新事業、新商品、
新サービスの開発

事業間のシナジー効果の最大化

- ・子会社「株式会社NEW ARTブランド開発研究所」による新商品、新サービス、新事業の開発への取組強化。
- ・国内外における店舗網拡大 国内は3～5年で20～25店舗を計画。改装、移転による既存店舗のグレードアップにも注力。
- ・ヘルス&ビューティー事業売上に係る自社クレジット事業の内製化。
- ・5月「CRAZY」銀座本店オープン。新事業立ち上げ準備。

1. 2020年3月期 決算概要

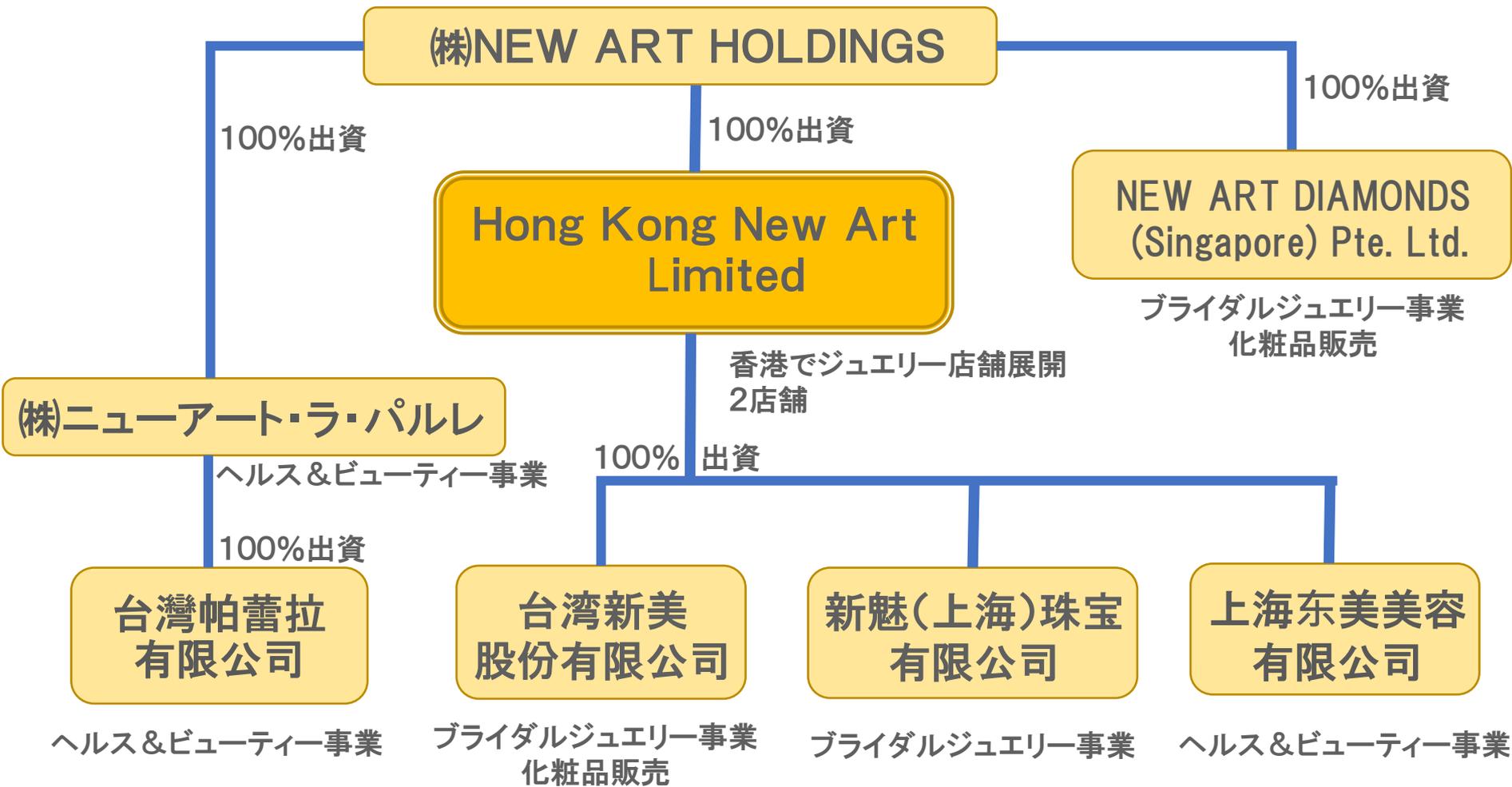
2. 2020年3月期 取組内容および 2021年3月期 取組課題

3. 海外事業展開

4. 株主還元

3. 海外事業展開

NEW ARTは海外展開を加速し、
HONG KONG NEW ART の上場を目指します



3. 海外事業展開

【HONG KONG NEW ART上場への道程①】

- 1) 2019年9月: 香港出店、台湾台中出店、
上海移転出店(ジュエリーとエステ複合店舗)
- 2) 2020年2月 シンガポール現地法人設立
- 3) 2020年4月 香港2店舗目となる香港SOGO CWB店出店
- 4) 2020年7月 台湾6店舗目 新光三越信義A8店、
台湾7店舗目 SOGO新竹店 出店決定
- 5) 2022年3月までに: 台湾7店舗⇒13店舗、香港2店舗⇒4店舗、
シンガポール2店舗、上海1店舗当面据置

3. 海外事業展開

【HONG KONG NEW ART上場への道程②】

6) 店舗を起点に**化粧品事業**を展開⇒各国にて製品の認可申請中
(台湾は一部認可取得)

7) **2022年3月期**連結決算数値(売上高30億円、営業利益4億円)

を以って**上場申請**することを目標

⇒**コロナの影響等に鑑み、延期、市場変更も視野に入れた柔軟な対応**

【アジア・パンパシフィック他地域への進出を視野に入れた展開】

タイ、ベトナム、インドネシア、オセアニア

1. 2020年3月期 決算概要
2. 2020年3月期 取組内容および
2021年3月期 取組課題
3. 海外事業展開
4. 株主還元

[基本方針]

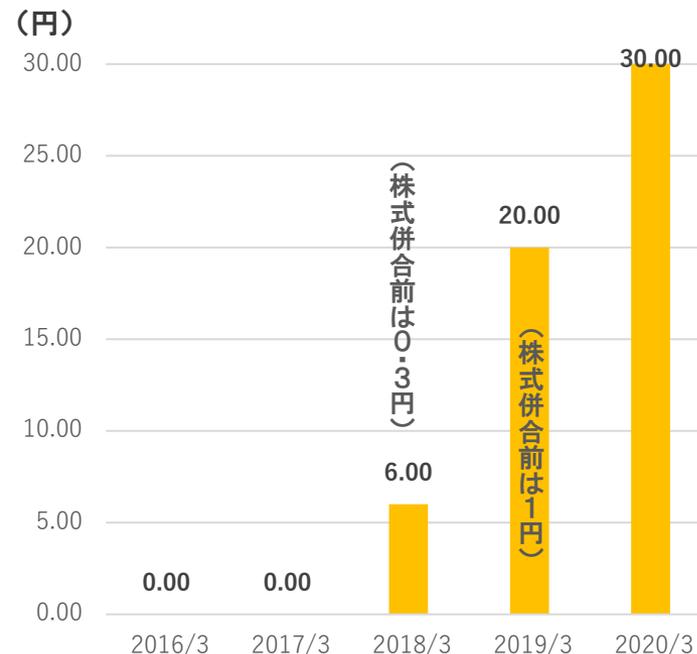
- ・将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益及び企業価値の最大化に努める
- ・株主還元については、業績向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現していく。

	期末配当金	自己株式の取得
2019年3月期	1円	—
2020年3月期	30円	415,764,400 円 ※2

※1 2019年10月1日を効力発生日として20株につき1株の割合をもって株式併合を実施しました。

※2 取得期間：2019年5月8日～2020年5月7日。
 取得した株式の総数 523,495株
 (株式取得上限枠 185万株に対して、28.30%)
 株式の取得価額の総額 415,764,400円
 (株式取得上限枠 10億円に対して、41.58%)

1株当たり配当金の推移
 (株式併合後の水準で比較)





みんなの夢の企業体
NEW ARTは、アートの持てるすべての力で
あなたを美と健康と幸せに導きます

IR情報に関するお問い合わせ

株式会社 NEW ART HOLDINGS 経営企画部

Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。